



全国書店員が選んだいちばん! 売りたい本 本屋大賞 2026

売り場からベストセラーをつくる!!

本屋大賞は「全国書店員が選んだいちばん! 売りたい本」をコンセプトに2004年に始まった賞です。今回が第23回目。一次投票には全国の490書店より書店員698人、二次投票では345書店、書店員470人もの投票がありました。二次投票ではノミネート作品をすべて読んだ上でベスト3を推薦理由とともに投票しました。その結果、2026年本屋大賞に『イン・ザ・メガチャーチ』朝井リョウ(著)、日経BP 日本経済新聞出版が決まりました。



大賞『イン・ザ・メガチャーチ』朝井リョウ



「神がないこの国で人を操るには、“物語”を使うのが一番いいんですよ」——2025年、作家生活15周年を迎えた朝井リョウが、ファンダム経済を仕掛ける側、のめり込む側、かつてのめり込んでいた側——世代も立場も異なる3つの視点から、人の心を動かす“物語”の功罪を炙り出す。

「新たな面白い本の発見」は何にも代えられないものです。ネットや書店などで探す人も多いと思いますが、「当たり」の本を見つけるには「文学賞を受賞した作品」を読んでものがおすすめです。



©DESIGNALIFE

2位『熟柿』佐藤 正午



取り返しのつかないあの夜の過ちが、あったはずの平凡な人生を奪い去った。

3位『PRIZE—プライズ—』村山由佳



ファンダム経済を仕掛ける側、のめり込む側、かつてのめり込んでいた側——世代も立場も異なる3つの視点から、人の心を動かす“物語”の功罪を炙り出す。

4位『エピクロスの処方箋』夏川草介



「幸福」とは何か。本書の主題は、前作と同じく、この問いの中にあります。幸福に生きるとはどういうことか。幸福は環境が与えるものなのか、それとも自分の力で生み出すものなのか。

5位『暁星』湊かなえ



大御所作家(清水義之)が式典の最中、舞台袖から飛び出してきた男に刺されて死亡。逮捕された永瀬は、週刊誌に手記を発表。そこには、清水が深く関わっている新興宗教に対する恨みが綴られていた。

6位『殺し屋の営業術』野宮 有



「営業ノルマ」は、2週間で2億円。稼げなければ、全員まとめて地獄行き。★★★★★☆☆☆☆☆ テレビ、新聞、ラジオ、雑誌で話題沸騰!

7位『あかり』瀬尾まいこ



充足しているが、悩みは尽きない日々。不思議な家族が織りなす悲喜を、著者ならではの温かな筆致で綴った感動の物語。今、部屋で一人涙をこらえるあなたに読んでほしい。

8位『探偵小石は恋しない』森バジル



小石探偵事務所の代表でミステリオタクの小石は、名探偵のように華麗に事件を解決する日を夢見ていたが9割9分が不倫や浮気の調査依頼。しかしその裏で思いもよらない事件が進行——。

9位『失われた貌』櫻田智也



周到に張られた伏線 閃きを導く手がかり。最後に裏返る真実 本を閉じた後に意味合いを変えるタイトル。ミステリに求めるすべてがここにある。これぞ、至高!

10位『さよならジャバウォック』伊坂幸太郎



結婚直後の妊娠と夫の転勤。その頃から夫は冷たくなった。彼からの暴言にも耐え、息子を育て、ついに暴力を。そして今、自宅マンションの浴室で夫が倒れている。夫は死んだ、死んでいる。私が殺したのだ。

雑誌もたくさんあります!!

ESSE
レタスクラブ

読んでみたい本があったら気軽に声をかけてねっ!!

ニュートン
蛍雪時代
スポーツグラフィックナンバー
ナンバープラス
プレジデント

バレーボール・高校野球
柔道・将棋世界・墨
Art コレクター(芸術)
コットンフレンド
園芸カイド

